

競技注意事項

2026 私学祭

1 本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) 走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3) 走幅跳、三段跳は胸だけでもよい。
- (4) トラック競技種目に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (5) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、係に返却する。

3 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、競技に支障のないように係員の指示に従って行う。
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) トラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、7時00分から8時30分まで使用できる。

※ レーン使用区分は原則として次のとおりとする。

1・2レーンは中・長距離、3～5レーンは短距離、6・7・8・9レーンはハードル

※ トラックの第1種目以降も競技の進行に支障がない範囲でバックストレート等を使用できる。

4 招集について

- (1) **招集所は、南側器具庫前(400mスタート)付近に設ける。**競技者は招集完了の後、競技場所に移動する。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

競技	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	全ての種目	40 分前	20 分前
フィールド競技	棒高跳以外の種目	60 分前	40 分前
	棒高跳	80 分前	60 分前

* リレーのオーダー用紙は招集完了 60 分前までに招集所に提出することとする。

5 レーン・試技順について

トラック競技のレーン及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

6 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① すべて写真判定装置を使用する。
 - ② 本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
 - ③ レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。800m 以上は競技役員の指示に従う。

- ④ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
- ⑤ 直線のトラック種目については、バックストレートを使用して逆走にて競技を行う場合がある。

(2) フィールド競技について

- ① すべてトップ8を実施する。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ③ フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。(競技規則T R6-3)

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更することがある。中学生種目については審判の判断に従う。)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m60/1m80/1m90	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95 まで 5 cm以降 3 cm
女子走高跳	1m30/1m50/1m60	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65 まで 5 cm以降 3 cm
男子棒高跳	3m60/4m20/4m80	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	以降 5cm
女子棒高跳	2m00/3m00/3m40	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以降 1 0 cm

※ 棒高跳は、競技場所で棒高跳支柱位置申請を口頭で行う。

※ 第 1 位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳 2cm 棒高跳 5cm とする。

○ 三段跳の踏切板は男子 1 1 m、女子 8 mで行う。

8 競技用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳の「ポール」および投てき器具は検査を受けて使用することができる。投てき器具については、主催者が一括で借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。

9 競技用靴について (競技規則T R5. 2 WA : C 2. 1 参照)

スパイクピンの長さは9mm 以内とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。

なお、スパイクピンの数は 11 本以内とする。800m 未満のトラック種目では、靴底の厚さが 20mm を超えるシューズ、800m 以上のトラック種目では 25mm を超えるシューズは使用できない。

10 表彰について

- (1) 表彰は実施しない。各種目 1～3 位に賞状及びメダルを授与する。4～6 位は賞状を授与する。
- (3) 最優秀選手賞に選ばれた選手にはトロフィーを授与する。
- 【男女(トラックフィールド)各 1 名、最大 4 名】

11 競技場の使用について

清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」を強く要望する。

競技場周辺のコンビニエンスストア・自動販売機・交通機関の駅などにごみを捨てない。

12 その他

- (1) 本大会は記録速報（QRコード）を活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。
- (2) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (4) 抗議は、競技規則146条によって定められた時間内（結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする）に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金（2万円）を添え、担当総務員を通じて Jury に「抗議申立書」で申し出る。
- (5) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によって当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (6) 各校の競技場内で控え場所については、多目的広場、メインスタンドを割り振る。別途 HP に記載する。